



奈良県議会議員

なが た

永田ゆづる

奈良をもっと選ばれる街へ

県政ニュース vol.01

令和5年(2023)夏

Nara Prefectural Administration News

発行：奈良県議会議員 永田ゆづる 奈良市登大路町30(県議会控室)

PROFILE ●平成元年3月生まれ(34歳)／●早稲田大学商学部卒業／●元NHK報道記者 奈良・仙台・東京社会部(皇室・警視庁担当)

その他の活動(所属)

観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会 副委員長／議会改革推進会議／リニア中央新幹線建設促進議連／京奈和自動車道建設促進議連／がん対策推進議連／殺処分ゼロをめざす議連

news 01

奈良県議会で 物価高対策など 補正予算案を可決

ことし4月の奈良県議会議員選挙では、多くの皆様のご支援で初当選を果たすことができました。皆様からお寄せいただいた県政に対する声を受け止め、「若い力ですぐ実行・行動！」をモットーに県議会で具体的な提案や問題提起を行っていききたいと思えます。

さて、奈良県議会の6月議会は148億円あまりの予算案などが可決され7月4日に閉会しました。この予算には、基本給を1%引き上げた中小企業などに従業員1人あたり5万円を給付したり、1万円が1万5000円分の買い物が可能となる電子クーポンを発行したりする事業が盛り込まれるなど、物価高に対応するため19億7000万円が計上されています。また、前知

事が重点を置いて進めようとしてきた事業のうち15の予算について執行中止が表明された直後の議会だったため、本会議における代表質問や一般質問においては、この是非が議論の中心になりました。私も所属する「総務警察委員会」において、執行中止となった南海トラフの巨大地震に対応するための防災関係予算について質問しました。今後も、県政ニュースの発行や街頭活動等において奈良県議会についての情報発信を積極的に行っていきたいと思えます。ぜひ奈良県政へのご意見やご要望をお寄せください。

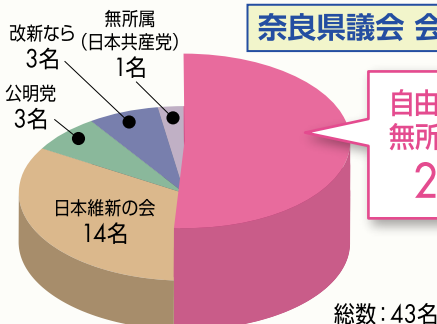


news 02

県議会公明党 「自由民主党・ 無所属の会」に所属

県議会は予算案などの議決をするとともに、県当局へのチェック機能を果たす役割を担っています。奈良県議会は43名のうち、「自由民主党・無所属の会」が22名、「日本維新の会」が14名、「公明党」が3名、「改新なら」が3名、「無所属(日本共産党)」が1名となっています。私は党派「自由民主党・無所属の会」に所属しています。当選直後の5月から6月にかけて、連日、会派で勉強会を開いたり対象事業についての視察を行ったりするなどして予算の執行中止についての議論を深めてきました。報道記者の経験やこれまで政治に関わってこなかったからこその見えてくる視点を大切にして、チェック機能という県議会の役割を果たしていきます。

奈良県議会 会派構成



五條市・防災拠点整備予定地(2023.6.14)

総務警察 委員会に所属

「総務警察委員会」に所属して県財政や防災、それに県警察本部の予算や体制などについて議論しています。南海トラフの巨大地震などの災害対応を想定し、五條市に建設が予定されていた*防災拠点の関連予算の執行が中止となったため以下の2点を委員会に質問しました。今後、9月議会等でも防災の体制整備について重点を置いて議論を続けていきたいと思えます。

質問要望①

知事が五條市の防災拠点の代替場所として挙げた和歌山や大阪の空港では、地震発生時に津波などの災害対応に迫られることから、奈良県への十分な対応ができないのではないか。災害リスクが年々高まっていて、紀伊半島全体をカバーできる防災拠点の早期整備が重要ではないかと質問・要望しました。

質問要望②

県議会の知事の発言で、予算の執行中止にいたったプロセスや理由を行政文書に記しておらず、遡って記すこともないという答弁があった。予算規模も大きく、経緯等を検証するためにも文書でしっかり残すことが必要ではないか。政策決定のプロセスが透明になるよう努力するべきではないかと質問・要望しました。

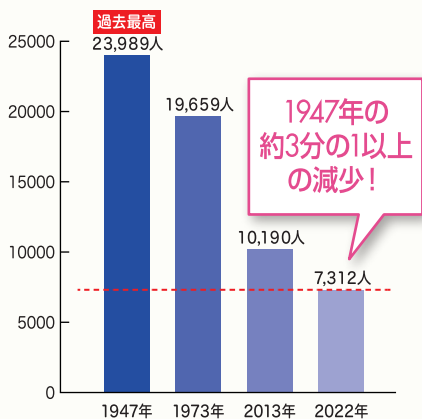
*南海トラフの巨大地震などの発生時を想定し、自衛隊の先遣隊300人を半日で受け入れたり災害派遣医療チーム315人を1日で派遣対応可能にする施設。

奈良県の諸課題

課題① 奈良県の人口減少

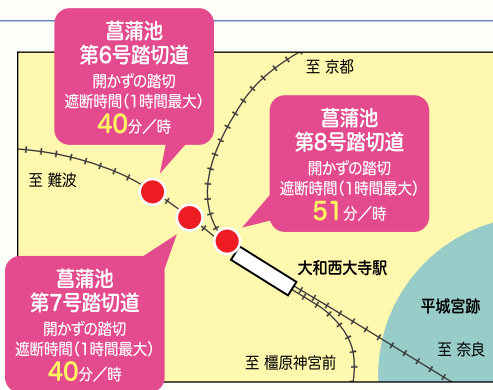
奈良県の出生数は2022年に7312人（出生率1・25）と、この10年で2878人減少（▼28・2%）しています。他の都道府県と比べても人口減少が進んでいます。このため、奈良県では①子どもの医療費助成の拡充（15歳→18歳）②保育士の処遇改善に向けた検討③不妊治療への支援④ヤングケアラー支援⑤教員の負担軽減などに取り組んでいます。加えて、出産前や産後ケアなど子育ての早期サポート体制を充実したり、雇用を創出したりすることも重要です。また、若い世代や女性の働き場を確保するため、企業誘致や多様な働き方を実現している企業へのバックアップも推進する必要があります。私も力を尽くしていきます。

奈良県 出生数の推移



課題② 「開かずの踏切」と渋滞について

奈良市内には踏切の遮断時間が40分以上となる「開かずの踏切」が複数あります。近鉄大和西大寺駅の西側にある菟蒲池第8号踏切道では最大で1時間のうち51分にあたり遮断されます。隣接する踏切でも40分にわたって遮断されます。この影響もあり、周辺の道路では交通渋滞が深刻となっていて、県民生活に大きな支障が出ています。これは経済的にも大きな損失で、住民生活の向上と課題解消に向けて関係機関と調整・連携を進めていきたいと思えます。



少人数での座談会・県政報告も行っていますのでお気軽にお声がけください。

奈良県議会議員 永田ゆづる

奈良市登大路町30(県議会控室)

TEL : 050-3696-1053

FAX : 0742-90-1108

Mail : info@yuzurunagata.jp

